

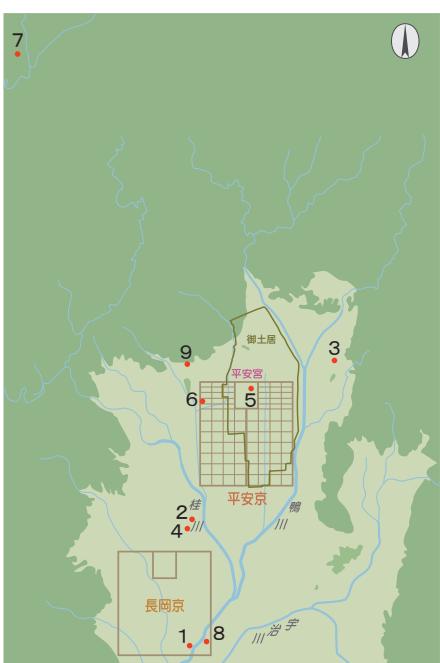
発掘成果をふりかえって 2024

<http://www.kyoto-arc.or.jp>
 (公財) 京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



1 長岡京跡・淀水垂大下津町遺跡 伏見区淀水垂町

調査地は、桂川下流の右岸沿いに位置します。桂川沿いの集落東縁辺では、川船を再利用した土留め・護岸遺構が見つかりました。史料などから、淀二十石船の拠点である水垂町に関する遺構とみられます。



発掘調査の位置



2 中久世遺跡 南区久世中久世町

調査地は桂川右岸域の、弥生時代から中世までの遺構が存在する複合遺跡です。調査では、弥生時代中期から後期にかけての竪穴建物・土坑や、長岡京期の掘立柱建物などが見つかりました。特に、弥生時代中期の竪穴建物は、本遺跡で初の発見となりました。



3 北白川廃寺 左京区北白川東瀬ノ町

北白川廃寺は、飛鳥時代に創建された寺院跡です。寺の西を区画する南北溝と建物跡が見つかりました。北白川廃寺の西端を確認したのは初めてです。



4 溝路遺跡 南区久世殿城町

調査地は長岡京の北郊に位置しています。これまで長岡京の北限と考えられてきた北京極大路の北側 120mの地点で道路の交差点と建物が見つかりました。



5 平安宮跡 上京区須浜池町

調査地は平安宮の内裏を警護する役人の詰所が置かれた大宿直（おおとのい）跡に位置しています。調査では、9世紀前半の建物跡や溝状遺構、地鎮跡を確認しました。



6 平安京右京一条四坊十三町跡 右京区花園伊町

調査地は法金剛院旧境内の東隣、平安京右京一条四坊十三町の中央からやや北東寄りに位置します。調査では、11世紀後半の邸宅の園池が見つかりました。池の汀には洲浜が施され、景石も据えられていきました。



7 周山城跡 右京区京北周山町

周山城は、明智光秀によって東丹波の拠点として築城されました。調査場所は二之丸虎口の調査で、石積階段と城門の礎石、二之丸の南面石垣が見つかりました。城門は格式高い薬医門であったと考えられます。



8 長岡京跡・桂川関連遺跡 伏見区横大路

調査地は、桂川下流の左岸沿いに位置します。調査では江戸時代前期頃と推定される石積水制が見つかりました。石積水制は、水流を制御するために、川の中央に向かって張り出す岬状に造られていました。



9 史跡仁和寺御所跡 右京区御室大内

仁和2年(886)創建の仁和寺は、応仁の乱で焼失後、江戸時代に復興されますが、明治20年(1887)の火災により宸殿等が焼失しました。調査では、明治20年に罹災した宸殿の基壇南端と雨落溝、およびそれらの底石上に広がる焼土・炭層を確認しました。